

				部会名	しごと部会
施策No.	1-1-1	施策名	農業生産の支援	施策主管課	農政課
■内部評価について					
①成果指標について	<p>・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →不足している、成果指標も見直しが必要である、という評価になった。まず前者について、目指す姿は農畜産物に言及しているが、成果指標は栽培面積のみで、畜産物についての飼育目標等がない。次に後者について、花巻市の農畜産物である米穀、雑穀、野菜、果物、花き、菌茸、特産物は作付面積の増大が収益に反映するので、品種ごとに作付面積の目標を設定するという形で見直す、あるいは、目標値はすべての作物の合計面積のままでよいが、実績値については米系、穀物、野菜の三種類に分けて示すという形で見直す、さらに、事務事業のなかで直結度Aの成果が成果指標に反映される形で、「青果物出荷販売額」（ここから振興作物部門を抽出）、「農畜産物販売高」を加える形で見直す（こうすることで、政策の成果指標「農業者1人当たりの農業者所得金額」との整合性がはかれる）、という指摘があった。</p> <p>・目標値の設定は適切か。 →上記の点を含めて見直す必要があると評価した。</p> <p>・他に考えられる指標はないか。 →上述の通りである。</p> <p>・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →確かに「振興作物の栽培面積」の増加については素晴らしく順調に見えてしまうが、その上位三品目は、ヒアリングによると、米粉米、加工米、備蓄米である。やはり、すでに述べたように、成果指標が一つでは不足であり、その上での達成状況の分析は、きわめて不十分とならざるを得ない、と考える。</p>				
②施策を構成する事務事業について	<p>・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →沢山の事業を示されていることは素晴らしいことであるが、成果指標に対して多すぎるのではないかと、という評価になった。</p> <p>・目指す姿の実現に貢献している事業か。 →13事業のうち7つの事業がC評価となっていること（これらの事業の向上を図ること）、直結度Cの事業に必要性があるのか、という指摘があった。</p> <p>・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →特になし。</p> <p>・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →特になし。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →担い手の育成支援事業が必要と考えられる。</p>				
③施策の総合的な評価	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →課題、方向性は適正で、問題はないが、事務事業が多すぎるので新計画策定時に改善されることを望む。振興作物の対象が広範にわたるため、どの作物に重点を置いて施策を推進するかが見えてこない。</p>				
④シート記載内容について	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →成果指標の説明は紙面に限りある場合は別紙作成し添付した方がよい。 事務事業評価において成果状況についての説明欄があればよい。</p>				